

議会報告会結果報告

開催日時	平成 29 年 7 月 30 日（日）10 時～12 時			
開催場所	鎌倉市役所本庁舎 2 階 議会全員協議会室			
出席議員	班長	日向 慎吾		
	司会	西岡 幸子		
	千 一	竹田 ゆかり	山田 直人	長嶋 竜弘
	武野 裕子	西岡 幸子	日向 慎吾	飯野 眞毅
	河村 琢磨	池田 実	森 功一	納所 輝次
	高橋 浩司	保坂 令子	吉岡 和江	伊藤 倫邦
	中村 聡一郎			
参加人数	24 人			
実施概要	・平成 29 年 6 月定例会の報告 ・意見聴取会（テーマ『観光』）			
内 容	【委員長報告への質疑】 Q 1. 観光協会の体制が刷新とのことだが、具体的にどうなったのか？ A 1. （観光厚生常任委員会副委員長）理事会の体制がほとんど変わった。新しい会長も含めて変わった状況である。 Q 2. 観光協会の運営費補助金 4668 万円のうち 4095 万円（88%）が人件費と家賃とのことであるが、残りの 12%は？ A 2. （総務常任委員会副委員長）事業費補助金ということで事業・行事への補助となる。鎌倉まつりや薪能、ふれあいフェスティバル、義経まつり、玉縄史跡まつりなどへの補助となっている。 Q 3. 由比ガ浜こどもセンターについて（神奈川県産材が使われているのか？定員についてはどうなのか？） A 3. （教育こどもみらい常任委員会委員長）保育士の手配等の関係もあり、いきなり 216 人の受け入れとはならないが、最大で 216 人の受け入れをしていく。一人でも多くの子どもを預かれるようにしてもらいたい。また、建設にあたり特にいつも以上に木材をふんだんに使っているとは報告を受けていないため、通常のやり方になっていると思う。 Q 4. 永福寺は全て復元するのか？ A 4. （教育こどもみらい常任委員会委員長）当初は文化庁と全部復元したいと協議をしていたが、絵図が残っていないこともあり、補助の対象とならないため、発掘をして出てきた基礎の部分の復元している。QR コードを読み込むと携帯電話では見える形に対応はしている。当面は復元する見込みは立っていない。			

Q 5. 歴史文化交流館の日曜開館は観光客にとっても必要ではないか？

A 5. (教育こどもみらい常任委員会委員長) 近隣の方々と説明会を重ねていく中で、「日曜日は開館しないでいただきたい・開館も 10 時から 16 時まで」と限られた時間で開館をしてほしいということで、日曜開館は残念ながら同意を得られなかった。開館をする中で近隣に対する調査をして、再度話し合いをさせていただく予定となっている。議会としては市に対して、日曜日のできるだけ早い開館を求める決議を出させていただいた。

Q 6. 深沢地域整備事業について。これまでの経緯と事業規模を教えてください。

A 6. (建設常任委員会副委員長) 元々JR の車両工場であったが昭和 62 年ごろから少しずつ規模を縮小してきて、市も一部行政用地として購入してきたところである。今のまちづくりについては、平成 16 年にまちづくり基本計画ができた。規模としては約 32 ヘクタール。当初予算は 138 億円であったが、今は若干増えてきた。平成 22 年に素案ができ、平成 25 年に都市計画決定に向けての手続きが進んだが、ごみ焼却場の候補用地として挙がったこと、地域住民からまちづくりに対する陳情が出されたことにより都市計画決定が延びてしまった。その後、平成 28 年に素案ができ、平成 31 年度に都市計画決定に向けて進めているところである。

【意見聴取会での意見】

現状の課題

- ・パークアンドライドの費用対効果はどうか。
- ・英語の表示が少ない。
- ・観光客が多すぎて悲鳴を上げているのではないか。そういった問題に対して色々なビジョンを立ててきたが、具体的な形に表されていない。
- ・鎌倉はスペースがない・道が狭いという中で、人の流れや車の流れをどういう風にしていくのが課題である。
- ・江ノ電へ観光客が集中しているので、モノレールにも乗ってもらえるような誘導が必要である。
- ・2020 年に増加が見込まれるが、トイレや海岸のシャワーが足りないのではないか。
- ・セットバックした砂利道が気持ち良くない。景観を守ることを考えていかなければならない。
- ・道路が狭いので、路線バスを小型にするとか、道路を拡幅する等の努力が欠けている。
- ・バリアフリーがまだまだ進んでいない。景観を壊さないバリアフリー。
- ・単身者や子どものいない夫婦への支援が、子育て世代への支援に比べて遅れている。
- ・観光協会は市からの補助金を得て行ってきた事業を継続させることで硬直化している面もあるのではないか。
- ・基本計画では 10 年ほどのスパンでは観光客は現状維持、観光振興と市民生活の両立としているが、本当にできるのか。どうやって実現していくのかをきちんと見ていかなければならない。

- ・大きな土地の一部分だけ開発して、それから次の申請ということで、2年3年待てば開発できてしまう。まちづくり条例ができたときは、まちを守ることができると思ったのに、反対運動が失敗ばかり続いていることへの懸念がある。

今後へのご意見

- ・安全を確保するためにも歩車分離を進めていくべきである。
- ・違法駐車のリッカー移動を市と警察でもっと連携してほしい。
- ・海外から来る人の言語（英語）を学ぶ機会に使えるか。
- ・宿泊施設の充実がもう少し必要である。宿泊による住民とのコミュニケーションの時間ができるのではないかな。
- ・民泊の活用をしていくべきである。
- ・観光客が来ることで混雑をするが混まない時間帯を住民が使用する仕組みができないか。
- ・ごみの意識啓発。
- ・困った人がいたら、すぐに助けることができる市民条例があってもいいのではないかな。
- ・車の規制をお正月と同じようにできないか。
- ・江ノ電やJR、まちなか、地図の北が上なのか下なのか等の表示の統一が必要である。
- ・藤沢市には避難場所等がすぐにわかるアプリ（ふじさわ防災ナビ）があるが鎌倉市にはない。鎌倉市も必要である。
- ・基本となる景観を議論して、補助金を出して景観を守るべきである。
- ・江ノ電の優先乗車は住民としては非常にありがたい。
- ・警備員やごみ箱を撤去するなどテロ対策も考えていかなければいけない。
- ・経済優先の対策になっているのではないかな。
- ・観光が雇用につながるように公共サービスを考えていくべきではないかな。
- ・歴史文化交流館について、近隣の方々に集会室や避難所として使うなどメリットを得てもらうことによって日曜開館をしてほしい。
- ・市民の間では色々取り組みがあるので、それを市もすくい上げる形でより進めていくことが必要ではないかな。
- ・道路のバリアフリー化や歩道の拡幅は難しいことであるが進めていってもらいたい。
- ・鎌倉の観光は大きなビジョンが欠けているのではないかな。
- ・税収が増えることによって市民も納得できるような観光振興に見える形で行っていくことも大事である。
- ・鎌倉市の観光の進め方、なぜこの方針で進めているのかが見えないため、大きなビジョンを広く考えていく必要があるのではないかな。
- ・市民向けの観光情報が少ないのではないかな。もっと発信してほしい。
- ・市民が鎌倉を良く知ること、観光客にもっと良さを知ってもらえるのではないかな。
- ・子どもたちに鎌倉らしさ、鎌倉の伝統文化に触れる機会をもっと増やしてほしい。
- ・鎌倉駅構内の混雑が激しくて危険である。早期にホームドアの設置を願いたい。また、段差がありベビーカーや車椅子の使用が不便である。
- ・鎌倉駅周辺や八幡宮周辺の歩道対策とトイレの増設をしてほしい。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 薪能や鎌倉まつりなども実行委員会形式として、これまでと違う形でより広く巻き込むような形で行い、新規事業についても取り組みを進めることで硬直化している現状を変えていくことが必要ではないか。・ 今年の花火大会が良かった。引き続き民意を入れて取り組んでほしい。・ 2020 年のオリンピック・パラリンピックの対応について市と議会はどのような考え方で進めているのか。もう少し明確に話し合ってほしい。・ 魅力ある鎌倉にするために具体的に示してほしい。 |
|--|---|

その他

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ ここで論議されたことが議会でどの様に活用されるのか。・ 観光客は多いがそれほど気にならない。・ 民間の方々が主導で行ったバリアフリービーチは話題にもなり良い取り組みであった。 |
|--|---|